

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔11〕東京都台東区立入谷老人福祉館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	老人福祉センター・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区入谷1-16-9					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から17時まで					
(5)規模	延べ床面積 341.24㎡ 鉄筋コンクリート造地上4階 浴室、教養室、茶道・囲碁将棋室、図書室など					
(6)人員体制	4名 内訳...常勤1、非常勤3					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	ことぶき教室(カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い(ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業(口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等					
(2)自主事業	各種サロン(事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容:健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり 囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業等					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	19,644,000	16,909,400	17,119,190	19,248,095	19,432,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	19,644,000	16,909,400	17,119,190	19,248,095	19,432,000
決算	委託料	19,644,000	16,909,169	17,119,190	19,248,095	19,432,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,061,269	16,492,736	16,352,465	19,182,390	19,430,606
	収支	4,582,731	416,433	766,725	65,705	1,394
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
健康づくり(介護予防)事業実施回数		回	52	75	74	52
ことぶき教室実施回数		回	100	100	100	100
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用者数		人	26,500	26,367	27,140	26,479
健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数		人	3,100	2,989	2,997	2,555

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

自主事業であるサロンの実施に力を入れ、開催数・参加者数ともに昨年度を上回った。また、昨年度に引き続き、地域包括支援センター等の関係機関とも連携しながら事業を運営している。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[3]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	業務基準書に定める事業の実施はもとより、自主事業である介護予防サロン（健康体操や口腔ケア・脳トレ）や趣味のサロン（麻雀等）の開催回数を増やし、参加者数が昨年度を上回った。また、認知症に関する研修等の職員研修にも積極的に参加している。
(2)施設の維持管理	A	建物保守や施設設備の定期的な保守点検等を委託して適切に実施している。また、日常清掃を職員自らが行き施設全体に目を配ることにより、トイレ修理を迅速に実施する等快適な施設環境を保つことができている。
(3)利用者の満足度	A	利用者数は例年と概ね同程度である。また利用者満足度調査の結果も良好である。地域包括支援センター等の関係機関と連携した事業運営や、松が谷児童館との交流にも取り組んでいる。
(4)収入支出	A	予算は適切に執行されている。引き続き管理経費の削減や適切な予算執行が求められる。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	適切な施設管理や関係法令の遵守等、全体的に適切な運営がなされている。自主事業であるサロンの実施に力を入れ、成果を上げることができた。
-----------	--

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

利用者数は安定しており、満足度調査でも高い満足度を得られている。今後も高い満足度を維持できるよう、利用者のニーズを把握しサービスを実施していく必要がある。また、新規利用者拡大のため、外部へ積極的なPRを行っていくことが求められる。